

もっと
知りたい

点字版 音声版 やおい市議会だより

市議会における定例会の概要や一般質問、審議された議案に関する内容などを、広く皆様に発信する広報ツールのひとつが「やおい市議会だより」です。

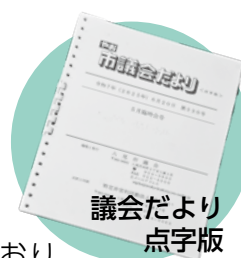
市政だよりと合冊の形式で、議会だよりは年5回全世帯に配布され、ご覧いただいております。

「点字版」や「音声版」の議会だよりが発行されていることはご存知ですか？

実は、市議会のホームページにはPDF版のほかに、音声版の議会だよりも掲載しており、視覚障がいのある方だけでなく、文字情報の読解が難しい方にも議会の情報を届けています。

点字版は、ご希望の方にお送りするとともに、市役所の総合案内や障がい福祉課、市立図書館などに配架しています。

議会だより音声版は、こちらからお聞きいただけます。→→→



議会だより
点字版



点字版・音声版の制作現場に密着！！

点字



現在は点字盤で打つのではなく、点訳する文章を点字ソフトへ入力し、点字専用のプリンターで印刷します。

ガイドヘルパーが文章を読み上げ、視覚障がいのあるスタッフが指先で判別できる印を付けたキーボードで入力を行います。

アクセント等の下調べや下読み、録音の確認や修正を行うので、文章を単に読み上げる10倍ほどの時間をかけて作っています。

それぞれが入力した担当部分を合わせ、全ページを読み上げて確認し、校正が終わると印刷・製本へと進んでいきます。



間違いがないかを点字を読みながら確認したり、読み上げて確認したりと入念なチェックを行います。

防音室で録音もしますが、ヘッドフォン・マイクのノイズキャンセリング性能が良くなり、自宅での録音や修正も可能となりました。



点字はマス空けなどルールが複雑で入力作業は難しいですが、今後も必要とされている方に届けたいです。

点字は専用の紙へ両面印刷しますが、漢字は全て仮名に戻すのでページ数も増え、点字版の厚みは元の原稿の5倍ほどになります。

音訳ボランティア講習会の受講後にコスモスで活動しており、誰かのためになるだけでなく仲間との活動で健康づくりにもなっています。

音声



音だけで情報を得る方に正しく伝えるため、アクセントや読み方を確認し、準備を重ねています。



完成した原稿をもとに、言葉の過不足なく文章どおり正確に読み上げ、録音を行います。



家事をしながら聞けるなど様々な方に声で情報を届けられるので、技術を高めながら続けていきたいです。

取材協力：就労継続支援B型「ゆうあい作業所」のみなさん

取材協力：「音訳グループ コスモス」のみなさん

市長報告会

高校生の意見を市長に届けました

令和6年12月20日に実施した、市内の高校生と議会だより編集委員との座談会「高校生と議会をつなぐ未来会議 2024」において、グループディスカッションで出された高校生のまちづくりに関する意見を取りまとめ、市長へ報告を行いました。



当日は未来会議に参加いただいた高校生3名と、議会だより編集委員会の正副委員長が出席し、市長へ報告書を提出するとともに意見交換を行いました。八尾の未来を担う若い世代の声を届ける貴重な機会となりました。



「高校生と議会をつなぐ未来会議 2024」を特集した議会だよりはこちらからご覧いただけます。→→→



聞かせて！

議会だより編集委員の意気込み

令和7年度の議会だより編集委員に、議会だより発行にける意気込みを伺いました。議会のことを皆様に伝えるため「アツい」思いを持って作成しています！

西川 あり 委員長

議会だよりは市民の皆様と議会をつなぐ架け橋です。議会活動を分かりやすくお届けできるよう精進します。

前園 正昭 副委員長

西川委員長のもと、市民の皆様に親しんでいただけるような誌面構成に取り組んでまいります。

景山 和香 委員

若い世代の方にも議会だよりを手にとってもらい、議会の情報を分かりやすくお届けできるよう頑張ります！

山中 宏 委員

議会の動きを分かりやすく、丁寧にお伝えできるように、また、皆様に親しまれる誌面づくりに全力で努めます。

柴谷 匡哉 委員

市民の皆様に、分かりやすい「議会だより」を目指して、頑張りたいと思います。

議会だよりは市民と議会をつなぐ大切な広報誌。「あっ、議員さんががんばってるネ」と言っていただけの誌面を作りたいです。

川上 舞 委員

市民の皆様により親しみやすく、市政が身近に感じられる議会だよりを目指します！

田中 裕子 委員

今後の議会だよりにご期待ください！！